

ののちのまこと

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—October

発行日:2013年10月31日

ののちのまこと

VOL

9

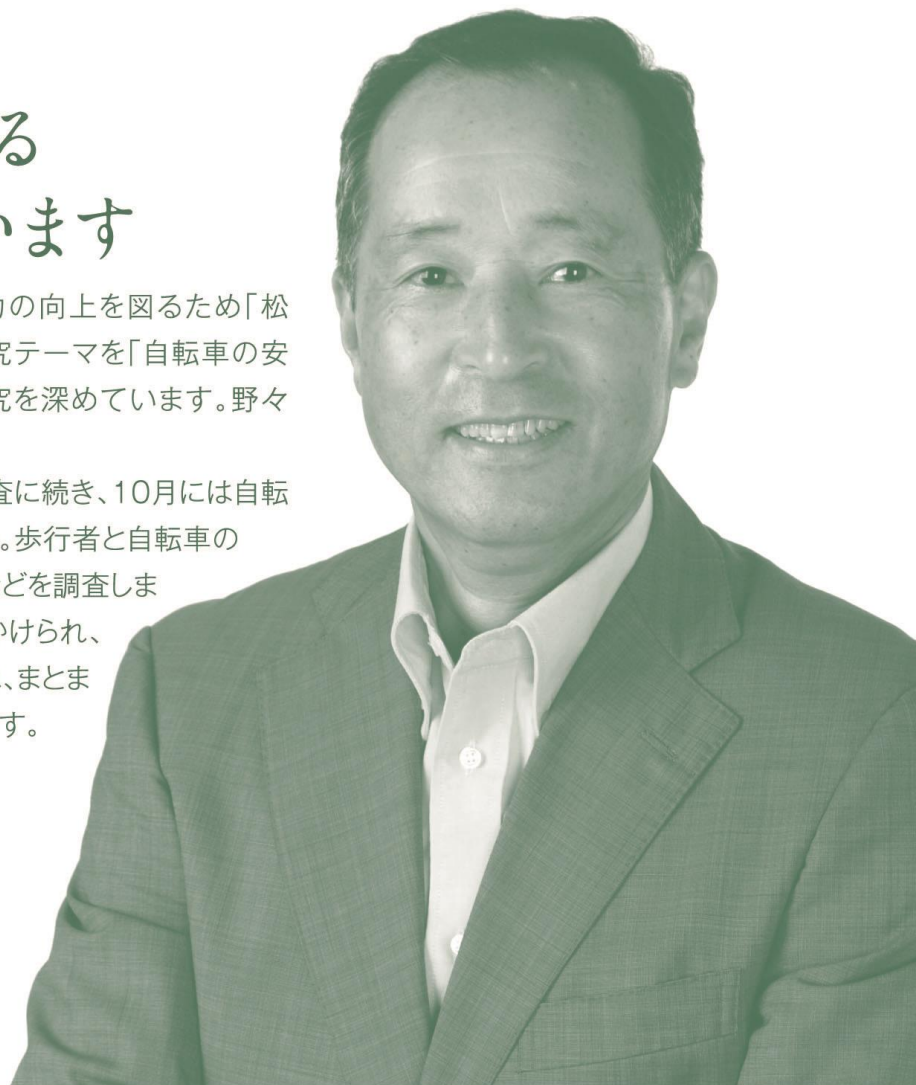
議員として力をつける 活動に取り組んでいます

松江市議会では、政策立案や政策提言能力の向上を図るため「松江市議会政策条例研究会」を設置。当面の研究テーマを「自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定」とし研究を深めています。野々内もこの一員として取り組んでいます。

研究会では、8月の自転車に乗っての現地調査に続き、10月には自転車通行の現地調査を市内3箇所で行ないました。歩行者と自転車のすれ違いの状況や自転車の安全マナーの状況などを調査しました。自転車の並列走行やヘッドホン着用も見かけられ、改善が必要なことを学びました。今後研究を重ね、まとまり次第、議員自らが考えた条例を上程する予定です。



月照寺橋付近で調査中



9月松江市議会

9月松江市議会は、9月4日から19日までの16日間の会期で開会されました。総額5億2500万円の一般会計補正予算案では、風疹の予防接種費用助成、ものづくりアクションプラン事業の増額などが盛り込まれました。また、

農業委員の定数を5人減員して30人とする条例の一部改正などが可決されました。このうち野々内は教育民生委員会の審議報告を行ないました。

また議員提出議案の「政務活動費の交付に関する条例の一部改正」や「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書」は全員

挙手で議決、「地方税財源の充実確保を求める意見書」は賛成多数で議決、「原発事故子ども・被災者支援法の基本方針案の見直しを求める意見書」を挙手少数で否決されました。これは、この支援法の中で見直しができることが明記されている・更に意見を聞いていると遅い対策がもっと遅くなる等の理由によるものです。

一般質問

野々内は、9月定例市議会でも連続8回目の一般質問を行ないました。



Q ものづくりアクションプランについて

ものづくりアクションプランの初年度の展開について問う

「ものづくりアクションプラン」が昨年10月に策定されてから1年を迎えます。そして、今年度の当初予算において各種の支援制度を立ち上げられました。各企業とも市の取り組みに感謝されています。このプランの初年度としての取り組みの状況を、どう評価し、また考えているかを伺います。

松浦市長 沢山の方がこのプランの支援措置を理解し利用されるという事で大変うれしい話です。そして、支援センターは活性化させていく役割を果たし、企業間で

もお互いに連携して取り組むことを模索する動きも出ており、今後このプランを二つのきっかけに、本市のものづくり産業の振興にお一層努めたいと思っています。

本市の製造業分野における目標を示す必要があるのではないかと

本市の目指すものづくりの分野、方向性のことですが、誇りが持てるメイドイン松江を示してください。

松浦市長 このプランの中にある「まっえ製品開発支援事業」で制度化をし、今年度、その開発のテーマは小型藻刈り船に設定しました。

こうしたアイデアを出し、それらを受けて企業間連携を模索してもらおうことで、活性化をしていくように考えていきたいと思っています。

設備導入に伴った関連経費を補助対象に加える考えはないか

工場に新設備を導入すると、レイアウトの変更が生じます。導入する設備と関連設備は一体的な経費だと思えますが、制度を拡充する考えはありませんか。

矢野産業観光部長 限られた予算の中で出来るだけ多くの企業に支

援をしたいと考えています。このため新製品の開発促進を図るために必要な工作機械等の取得費と、必要最低限の設置に係る経費を現在補助対象としています。

企業の抱える遊休資産活用のために仲介する考えはないか

まっえ産業支援センターで、売りたい企業と求める企業とのマッチングを図るために、データベース化を進め、仲介をする考えはありませんか。

矢野産業観光部長 不動産の仲介は、これまでどおり民間の経済活動の中で行っていたと考えています。また、まっえ産業支援センターに個別の相談があれば対応したいと思っています。

設備導入支援事業補助金制度の重複補助を拡大できないか

定められた以外の補助金等は重複して受けることが出来ません。法律等で重複が禁止されているものを除き、他の補助事業との併用が望まれます。

矢野産業観光部長 現在の市の補助制度をまず運用して頂く中



市の助成事業を活用した事業所

で、またその効果も検証しながら県など関係機関との協議をしていきたいと思っています。

製造業振興策としてインキュベート事業を創設する考えはないか
起業者用に新型機械をリース利用できる貸し工場を一定期間貸し出し、起業の支援と新型機械による技術者養成を図ってはどうかと考えます。

矢野産業観光部長 新規の起業・創業支援は、産業振興の重要な課題だと思っています。ただ、質問の件はオーダーメイド的な設備の整備が必要であり、現状では難しいと考えています。まずは、既存の制度を組み合わせて新たな起業につなげたいと考えています。

Q 上水道の未供用の実態とその対策について

八雲町では上水道未設置が31戸あると聞きました。松江市内にはどれだけ未設置家庭があり、どういう理由で未設置であるか伺います。井戸堀補助金、隣家からの引水工事補助金などはどの

ようになっていますか。
樋原上下水道局業務部長 平成24年度末の未供用にあたる水道給水区域外の世帯は114世帯で、率にして約0.1%です。その理由は井戸水や湧き水を確保されており、併せて新設をした場合に多額の自己負担も必要になることからと考えています。
伊東環境保全部長 飲料井戸等を整備する世帯に対して、平成18年度から松江市飲料水確保対策事業補助金により補助を行っています。

Q 江島工業団地に鳥取県の工業用水を引水する考えはないか



境港市側から江島工業団地を望む

江島の真向かいの境港西工業団地まで日野川工業用水道送水管が敷設されており、島根県を通じてこれを江島まで延長することを働きかける考えはありませんか。
矢野産業観光部長 島根県企業局とも協議を行っていますが、現在の補助事業の要件や繰り出し基準からは非該当で解決に至らず、非常に困難な問題であると認識をしています。

Q 支所所管の道路維持経費は増額し延長按分にすべきではないか

各支所に与えられている維持経費は一律250万円と聞いており、同一金額というのは公平を欠いていると言わざるを得ません。経費を増額した上で延長按分にするべきであると思います。

安田都市整備部長 年度当初は一律の予算配分と致しています。しかしそれ以外の修繕業務は管理課の予算で対応しているところです。
なお支所管内のみでなく市域全体で市道の老朽化などによる修繕箇所も増えていますので、道路

の維持予算の充実に努めてまいりたいと思います。

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)



東出雲町内の松江市道

12月議会予定

- 4日(水) 本会議
- 9日(月) 一般質問
- 10日(火) 一般質問
- 11日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 12日(木) 総務委員会
- 13日(金) 教育民生委員会
- 16日(月) 経済委員会
- 17日(火) 建設環境委員会
- 20日(金) 本会議(委員長報告、討論採決閉会)

活動報告 最近の活動から

東京で自主研修

7月22日から24日に、所属会派・松政クラブの有志で、東京に出向き国政課題を研修しました。

財務省からは「社会保障と税の一体改革」について。人口減少時代で担い手が少なくなる中、社会保障給付費が伸び税収が少なくなっており、社会保障の充実・安定化と財政健全化の同時達成のために消費税率を引き上げるといふもの。国民への丁寧な説明で理解を促す努力が必要だと感じました。

また、国土交通省都市局から都市公園事業などの説明で、松江市総合運動公園の大規模改修が課題になっていますが、その整備手法についても研修しました。

財務省主計局次長からは「国の財政状況の変化」についての講話。平成25年度当初予算から公債残高の状況やその増加要因、財政事情の国際比較など国全体の財政の課題の学習をしました。こんな集中的な研修は久しぶり。

平成24年度決算と臨時議会

9月19日に設置された決算特別委員会は、10月1日に全体の委員会と分科会が始まりました。野々内が委員長を務める教育民生分科会は10月1日と2日に審査を行いました。10月8日に全体の委員会を開き平成24年度決算の認定を行い、10月10日には臨時議会を開催し、議会として決算を議決しました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

所属会派・松政クラブの研修視察

8月21日から23日、松政クラブの研修に参加しました。東京では、国土交通省から「都市計画の区割り」の研修、経済産業省からは「地域経済産業施策について」で、「平成26年度 経済産業政策の重点(案)」の説明を受けました。中小企業経営の安定化を図ることも含まれており、今後の具体的な予算措置が楽しみです。

現地視察では、小樽市の文化的資産を活かした小樽市フィルムコミッションなどについて、恵庭市では支援が必要な児童や保護者に対しての行政サービスを学びました。

実際に出向いて、担当者から生の声を聞くことは貴重な学習の場です。



小樽市での視察

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.9を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX／0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>



ホームページを開設しています。
ブログもやっています。
お気軽にケイタイからご覧いただけます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、62歳。
母と長男夫婦と同居(妻とは死別)長女は結婚し独立
住所／松江市東出雲町出雲郷1670
電話／0852-52-3117(FAX兼用)

【学 歴】

昭和44年3月／島根県立松江農林高等学校卒業

【職 歴】

昭和44年4月～平成23年3月／東出雲町職員(企画財政課長、保健福祉課長、教育委員会教育次長、総務課長、参事)
平成25年4月／松江市議会議員選挙2期目当選

【活動歴】

出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、出雲郷小学校PTA会長(3年間)、PTA連絡協議会会長、松江市農業委員、体育協会出雲郷副支部長